



新しき一年に 新しき自分を

澄みわたった青空をキャンバスに、飛行機雲が白い線を描いていく。見上げる人の心にも、清新で、伸びやかな気持ち、湧き上がってくる。

写真は1990年（平成2年）10月、池田名誉会長が鹿児島・霧島

で撮った1枚である。9月29日、暴風雨について、青年たちが待つ九州研修道場（当時）へ。翌30日、台風一過の大晴天の中、全国男子青年部幹部会で呼び掛けた。

「嵐のあとの、雲一つない青空。諸君は、この青空を仰ぐような心

で、誇り高き信念の道を、私のあとに続いていただきたい！」

今、各地で「世界広布新時代躍進の年」の活動が始まった。あす12日は「成人の日」を迎える。新しい年、新しい決意で、新しい自分をつくっていききたい。



福岡市の九州池田講堂で、友と記念のカメラに納まる池田名誉会長夫妻（1999年5月）。本年は第3代会長就任55周年。その励ましは休むことがない

新年は、
情性を破るチャンスである。

「新しい自分」へと

脱皮する好機である。

年頭の決意を買いたとき、

どれほど大きな実りが

年末に もたらされることか。

新生の決意に立てば

「前進の一年」になり、

「相変わらず」の心であれば

「後退の一年」となってしまう。

大いなる希望と

具体的な目標をもつことである。

「すべてに勝利する」との

強き一念を貫くことである。

「未来の社会」

「これからの地球」といっても、

それはすべて

未来を担いゆく

若き君たちの胸中にある。

今、諸君の心に

どのような未来が、

どのような希望が

描かれているのか――

ここに

すべてがかかっているといつてよい。

「どうなるか」ではなく

「どうするか」である。

自分が変わることである。

自分を改革することである。

自分自身が

「新生」の行動を

始めるところから、

一切が変わり始める。

今この瞬間も、

大宇宙は止まることなく

正確に運行している。

その宇宙を動かしゆく本源の力と

同じ力が、

私たち自身の生命の中にある。

ゆえに我らは、

来る年 来る朝、

わが胸に元初の太陽を昇らせ、

新しい一日を

新しい人生を

晴ればれと勝ち進んでいくのだ。